

高齢者実態調査報告書（案）
《介護保険サービス利用者・未利用者調査
・介護者調査》

平成28年11月

大阪市 福祉局 高齢福祉課
介護保険課
高齢施設課

高齢者実態調査報告書

《介護保険サービス利用者・未利用者調査・介護者調査》

平成28年●月

大阪市

目次

1	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査設計	1
(3)	調査項目	1
(4)	回収状況	2
(5)	報告書の見方	3
2	サービス利用者調査結果	5
(1)	調査対象者の基本属性	5
①	調査票記入者	5
②	性別	6
③	年齢	7
④	居住区	7
⑤	要介護度	8
(2)	世帯の状況	11
①	世帯の状況（同居家族）	11
②	介護する人の有無	13
(3)	健康状況	14
①	初めて要介護認定を受けた時の目的	14
②	初めて要介護認定を受けた時の主な原因や病気	15
③	要介護認定を受けるよう勧めた人	16
④	要介護認定を受けた時の不満	17
⑤	要介護度認定を受けた時の不満な理由	17
⑥	現在の自宅で受けている医療に関するサービス	18
⑦	訪問される方	19
(4)	介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	21
①	現在の住まい	21
②	現在利用している居宅の介護保険サービス	22
③	現在利用している施設の介護保険サービス	24
④	施設等に入所を希望した理由	26
⑤	施設等に入所してからの期間	28
⑥	現在利用している介護保険サービスの満足度	29
⑦	介護支援専門員（ケアマネジャー）の満足度	32
⑧	1年以内に利用したい介護保険サービス	33
⑨	1年以内に利用したい居宅の介護保険サービス	35
⑩	1年以内に利用したい施設の介護保険サービス	37
(5)	介護予防の取り組み	39
①	介護予防としての取り組み	39
②	介護予防に取り組んでいない理由	42
(6)	介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）	44

3	サービス未利用者調査結果	45
	(1) 調査対象者の基本属性	45
	① 調査票記入者	45
	② 性別	46
	③ 年齢	47
	④ 居住区	47
	⑤ 要介護度	48
	(2) 世帯の状況	51
	① 世帯の状況（同居家族）	51
	② 介護する人の有無	53
	(3) 健康状況	54
	① 初めて要介護認定を受けた時の目的	54
	② 初めて要介護認定を受けた時の主な原因や病気	55
	③ 要介護認定を受けるよう勧めた人	56
	④ 要介護認定を受けた時の不満	57
	⑤ 要介護度認定を受けた時の不満な理由	57
	⑥ 現在の自宅で受けている医療に関するサービス	58
	⑦ 訪問される方	59
	(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	61
	① 介護保険サービスの利用状況	61
	② 介護保険サービスを利用していない理由	63
	③ 1年以内に利用したい介護保険サービス	65
	④ 1年以内に利用したい居宅の介護保険サービス	67
	⑤ 1年以内に利用したい施設の介護保険サービス	69
	(5) 介護予防の取り組み	71
	① 介護予防としての取り組み	71
	② 介護予防に取り組んでいない理由	74
	(6) 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）	76
4	介護者調査結果	77
	(1) 介護者の基本属性	77
	① 本人との関係	77
	② 介護者の性別	80
	③ 介護者の年齢	81
	④ 同居の有無	82
	⑤ 同居していない介護者の居住区	89
	⑥ 介護者の健康状態	93
	(2) 介護の状況	94
	① 1日平均の介護時間	94
	② 本人以外でよく話をする相手	97
	③ 介護保険サービス提供者以外で介護を手助けしてくれる方	98
	④ 本人の認知症の程度	100
	⑤ 本人への介護内容	101

(3) 介護上の問題	105
① 介護を行ううえで困っていること	105
② 介護者の虐待の有無	107
③ 相談窓口等の利用状況	112
④ 介護を行ううえで困った時の相談先	113
⑤ 介護保険サービスを利用することによる介護者の変化	114
⑥ 介護保険サービスについての介護者の満足度	115
⑦ 本人に利用してほしい介護保険サービス	118
⑧ 在宅での介護を続けるために重要なこと	119
⑨ 介護者の就業状況	120
⑩ 介護者が仕事を続けるために必要な介護保険サービス	132
⑪ 介護者が仕事を続けるために必要な在宅の介護保険サービス	133
⑫ 介護者が仕事を続けるために必要な施設の介護保険サービス	137
⑬ 介護者が仕事を続けるにあたって不安なこと	140
(4) 介護保険制度についての意見・要望等（自由記述）	141

1 調査概要

(1) 調査目的

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者及びその介護者を対象に、介護保険サービスの利用状況と利用意向、介護の状況などを把握し、大阪市内における今後の高齢者施策及び介護保険事業の運営に資する基礎資料を得ることを目的に実施した。

(2) 調査設計

① 調査地域：大阪市内全域

② 調査対象：

I 介護保険サービス利用者

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、平成28年1月から3か月の間、介護サービスを利用した方から無作為抽出した 5,200人

II 介護保険サービス未利用者

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、平成28年1月から3か月の間、介護サービスを利用しなかった方から無作為抽出した 5,600人

III 介護者

上記 I・II の対象者を介護している者（介護サービス事業者を除く）

③ 調査方法：郵送配布、郵送回収

④ 調査期間：平成28年7月1日から平成28年7月31日

(3) 調査項目

〔1〕 介護保険サービス利用者

① 調査対象者の基本属性

調査票記入者、性別、年齢、居住区、要介護度

② 世帯の状況

同居家族、介護する人の有無

③ 健康状況

要介護認定の状況、医療サービスの状況

④ 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

現在の住まい、現在利用している介護保険サービス、介護保険施設の入所（入居）の状況、介護保険サービス・ケアマネジャーに対する満足度、1年以内に利用したい介護保険サービス

⑤ 介護予防の取り組み

介護予防としての取り組み、取り組んでいない理由

⑥ 介護保険制度についての意見・要望等

自由記述

〔2〕 介護保険サービス未利用者

① 調査対象者の基本属性

調査票記入者、性別、年齢、居住区、要介護度

② 世帯の状況

同居家族、介護する人の有無

③ 健康状況

要介護認定の状況、医療サービスの状況

④ 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

介護保険サービスの利用状況、介護保険サービスの未利用理由、1年以内に利用したい介護保険サービス

⑤ 介護予防の取り組み

介護予防としての取り組み、取り組んでいない理由

⑥ 介護保険制度についての意見・要望等

自由記述

〔3〕 介護者

① 介護者の基本属性

本人との関係、介護者の性別・年齢、同居の有無、介護者の健康状態

② 介護の状況

1日平均の介護時間、介護者の話し相手、介護を手助けしてくれる人の有無、本人の認知症の程度、本人への介護内容

③ 介護上の問題点

介護を行ううえで困っていること、虐待の有無、相談窓口等の利用状況、介護で困った時の相談先、介護保険サービスを利用することによる介護者の変化【利用者調査のみ】、介護保険サービスに対する介護者の満足度【利用者調査のみ】、介護者の介護保険サービス利用に対する考え【未利用者調査のみ】、在宅介護を継続するために重要な支援、介護者の就業状況、仕事を続けるために必要な介護保険サービス、仕事を続けるにあたって不安なこと

④ 介護保険制度についての意見・要望等

自由記述

(4) 回収状況

〔1〕 介護保険サービス利用者調査

調査対象者	回収数	集計対象外数	有効回答数	有効回答率
(a)	(b)	(c)	(d) = (b) - (c)	(e) = (d) / (a)
5,200	2,674	231	2,443	47.0%

※集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したもの）

現在介護保険サービスを利用していない	病院に入院中	本人の意思が確認できない	転居	死亡	白票	その他	計
62	24	73	3	17	3	49	231

〔2〕介護保険サービス未利用者調査

調査対象者	回収数	集計対象外数	有効回答数	有効回答率
(a)	(b)	(c)	(d) = (b) - (c)	(e) = (d) / (a)
5,600	2,765	856	1,909	34.1%

※集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したもの）

現在介護保険サービスを利用して いる	病院に 入院中	本人の意思 が確認でき ない	転居	死亡	白票	その他	計
344	302	13	4	28	3	162	856

（5）報告書の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100.0%にならない場合がある。）
- ② 図表上の「MA％」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の、また、「LA％」という表記は制限つき複数回答（Limited Answer の略）の意味である。
- ③ コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

介護サービス利用者調査 編

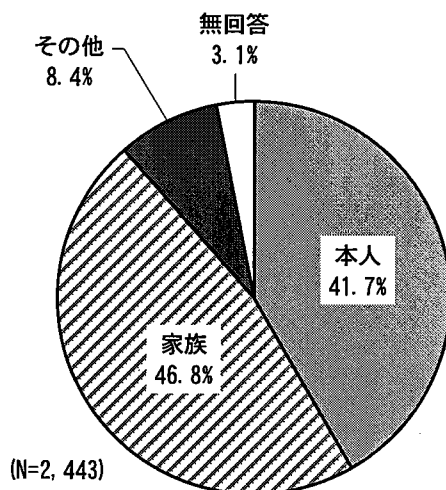
2 サービス利用者調査結果

(1) 調査対象者の基本属性

① 調査票記入者

問1 この調査票をご記入されるのはどなたですか。(○はひとつ)

【図1-1 調査票記入者】

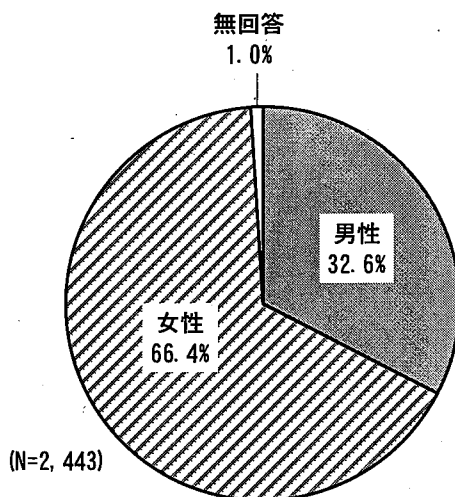


調査票記入者は、「本人」が41.7%、「家族」が46.8%となっている。(図1-1)

② 性別

問2 あなたの性別、年齢、居住区についておたずねします。(それぞれ○はひとつ)

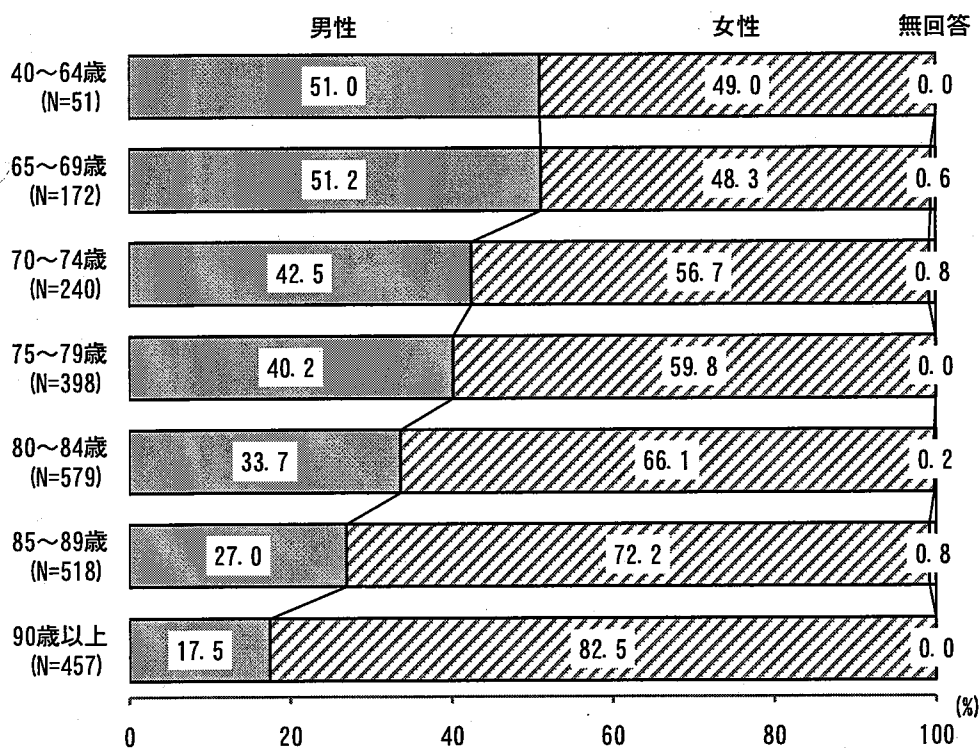
【図1-2 調査対象者の性別】



調査対象者の性別は、「男性」が32.6%、「女性」は66.4%で、女性のほうが多くなっている。(図1-2)

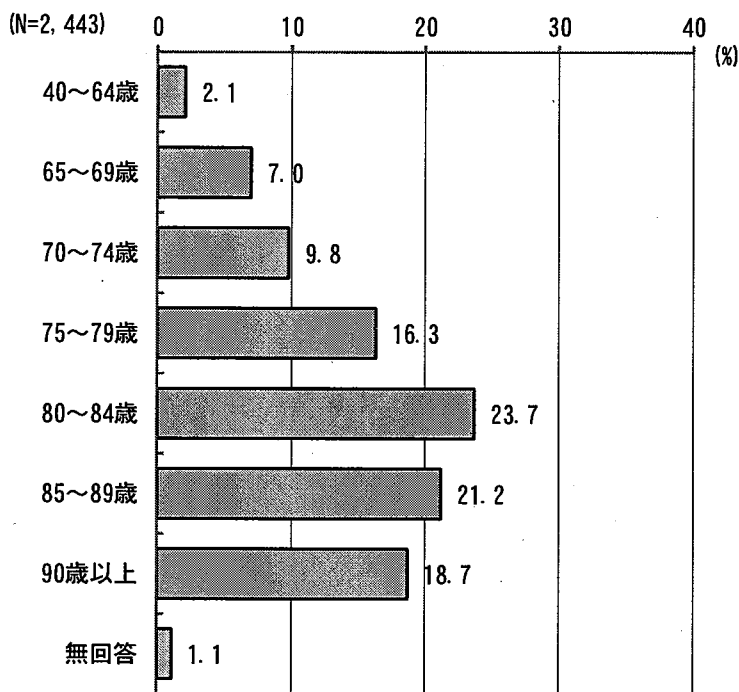
年齢別で見ると、40～64歳と65～69歳は「男性」のほうが多く、70歳以降では「女性」のほうが多くなっている。(図1-2-1)

【図1-2-1 調査対象者の性別 (年齢別)】



③ 年齢

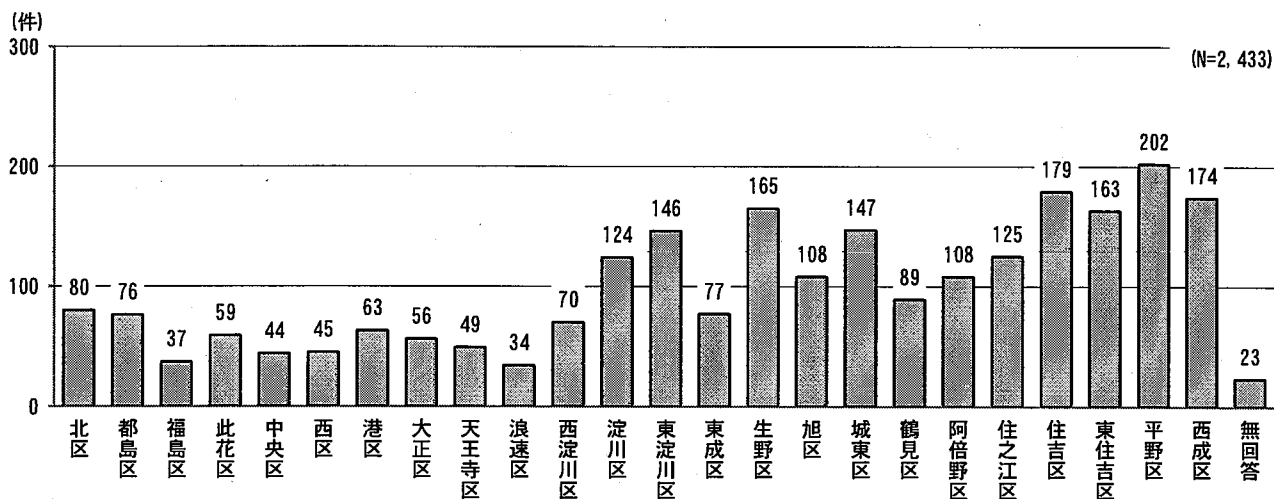
【図1-3 調査対象者の年齢】



調査対象者の年齢は、「80~84歳」が23.7%で最も多く、次いで「85~89歳」が21.2%、「90歳以上」が18.7%となっており、75歳以上の後期高齢者の割合は79.9%と高くなっている。(図1-3)

④ 居住区

【図1-4 居住区】

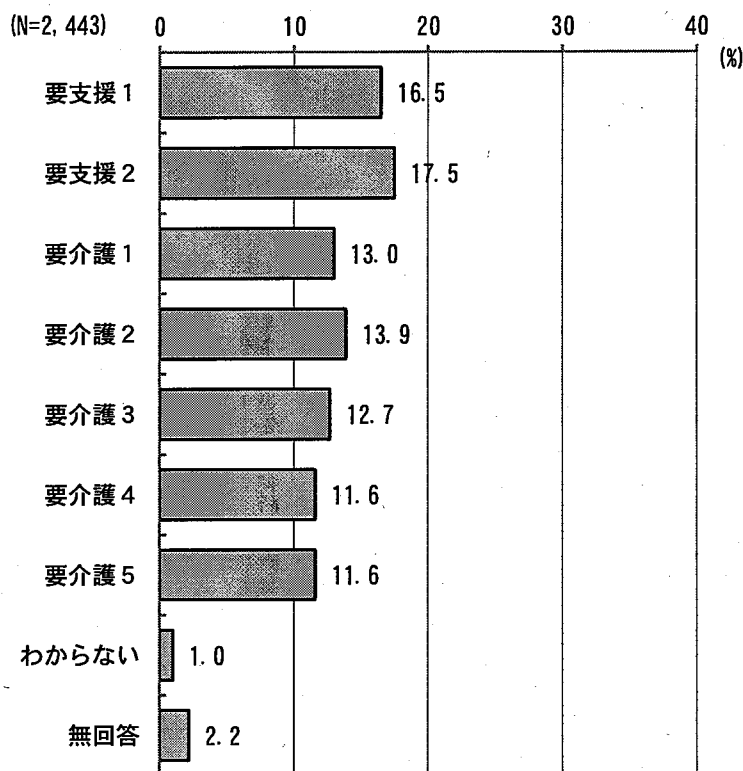


調査回答数について、「平野区」が202件で最も多く、次いで「住吉区」が179件、「西成区」が174件となっている。(図1-4)

⑤ 要介護度

問3 あなたの要介護度についておたずねします。(○はひとつ)

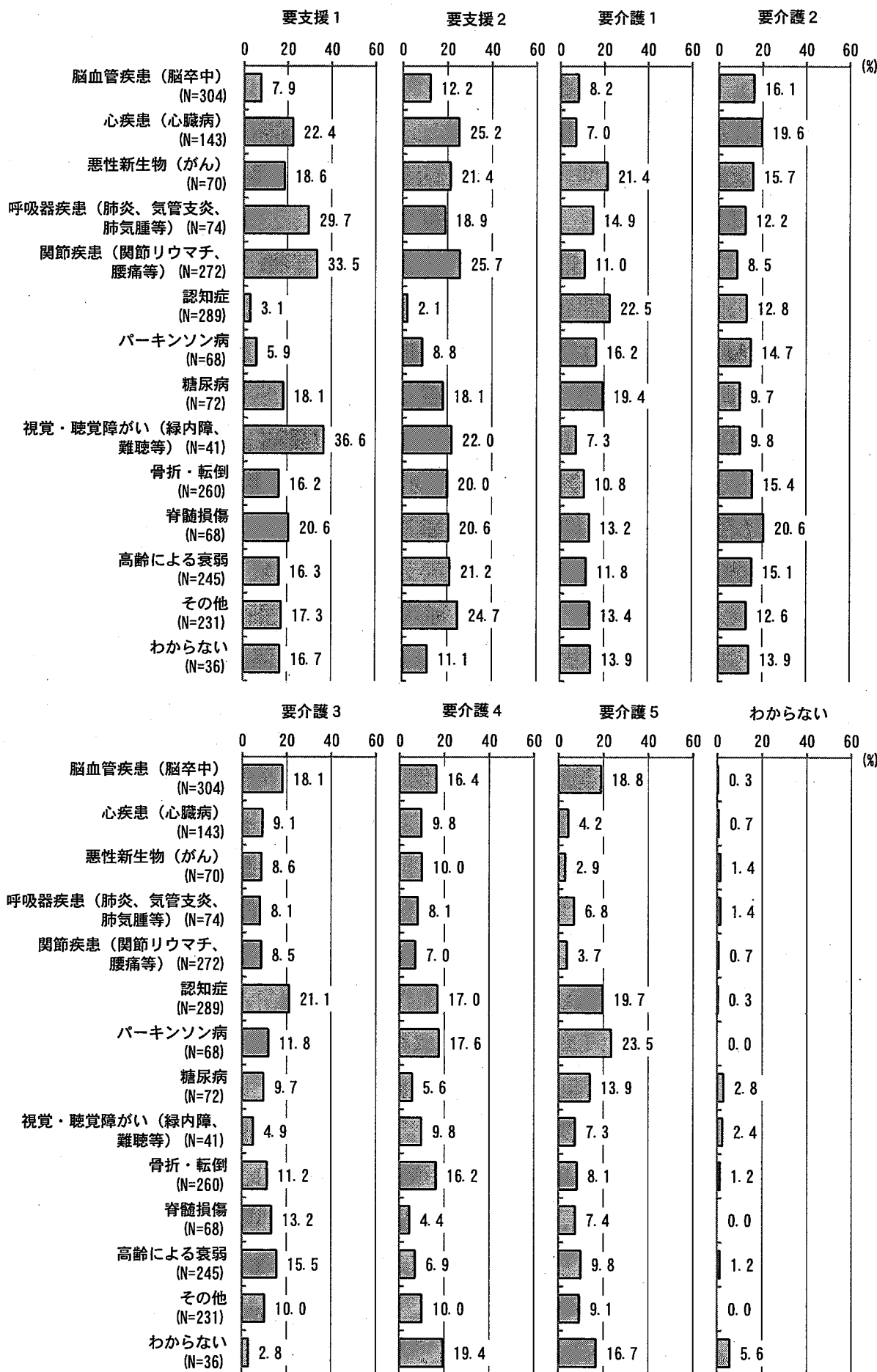
【図1-5 調査対象者の要介護度】



調査対象者の要介護度は、「要支援2」が17.5%で最も多く、次いで「要支援1」が16.5%、「要介護2」が13.9%となっている。(図1-5)

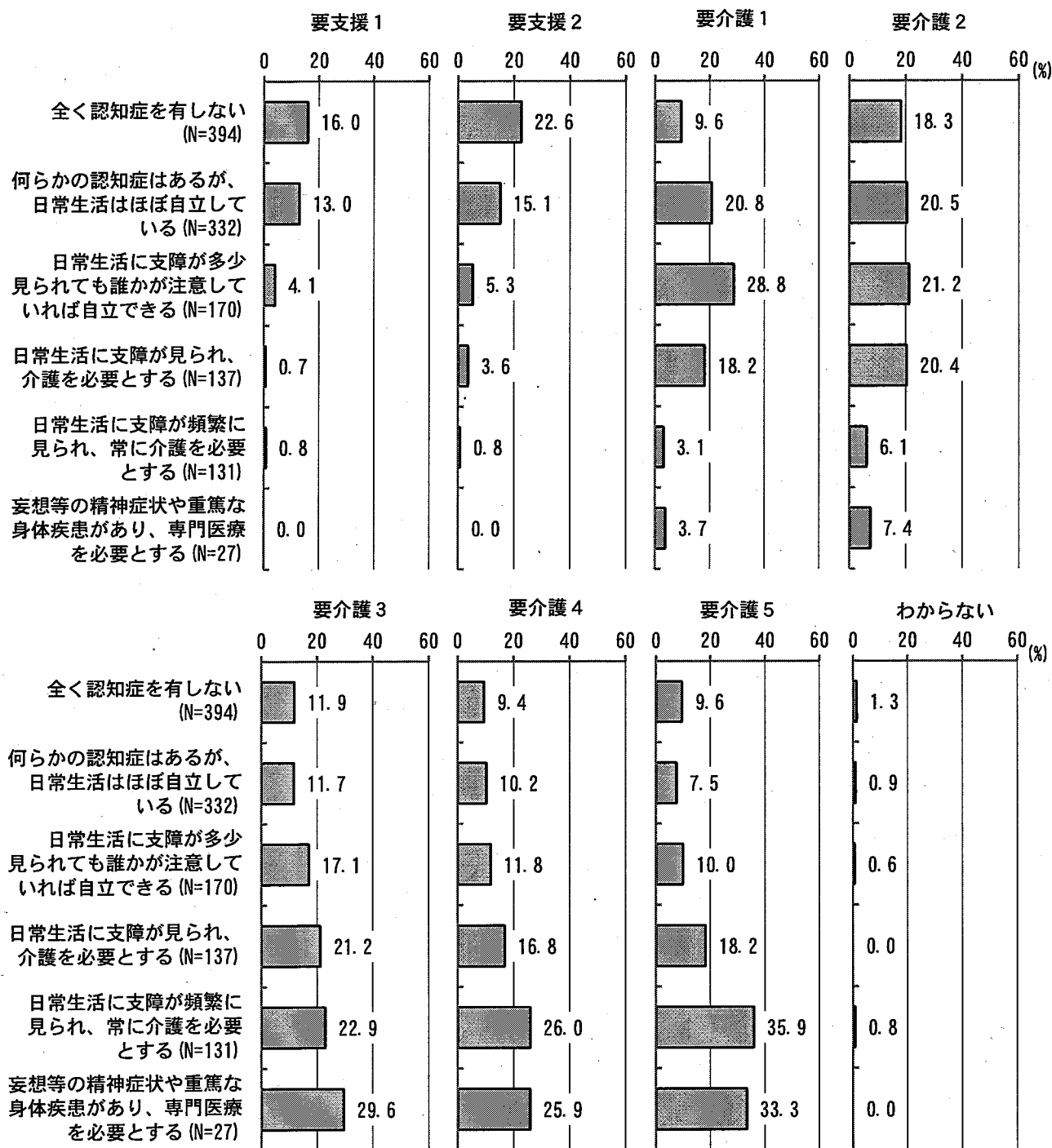
初めて要介護認定を受けた時の主な原因や病気別で見ると、呼吸器疾患や関節疾患、視覚・聴覚障がい「要支援1」で最も多くなっており、心疾患や骨折・転倒、高齢による衰弱は「要支援2」で最も多くなっている。認知症と糖尿病は「要介護1」で最も多く、脳血管疾患とパーキンソン病は「要介護5」で最も多くなっている。また、悪性新生物は「要支援2」と「要介護1」で、脊髄損傷は「要支援1」と「要支援2」、「要介護2」で、それぞれ最も多くなっている。(図1-5-1)

【図1-5-1 調査対象者の要介護度（初めて要介護認定を受けた時の主な原因や病気別）】



本人の認知症の程度別で見ると、認知症の程度が重くなるほど、要介護度は高くなっており、日常生活に支障が頻繁に見られ、常に介護を必要とする人と、妄想等の精神症状や重篤な身体疾患があり、専門医療を必要とする人では、要介護5で3割台を占めている。(図1-5-2)

【図1-5-2 調査対象者の要介護度（本人の認知症の程度別）】

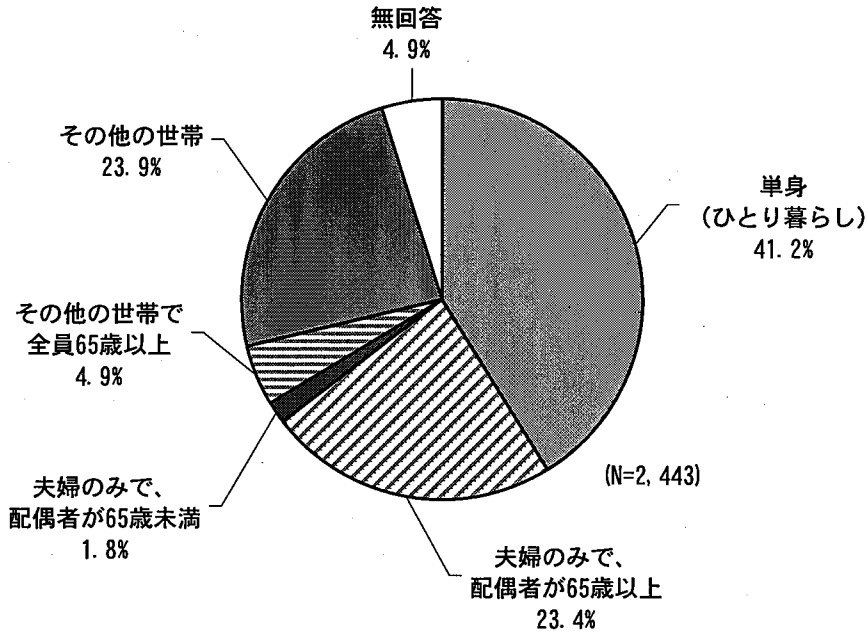


(2) 世帯の状況

① 世帯の状況 (同居家族)

問4 あなたと同居されているご家族の状況についておたずねします。(○はひとつ)

【図2-1 世帯の状況】



調査対象者の世帯の状況については、「ひとり暮らし」が41.2%で最も多くなっている。次いで「その他の世帯」が23.9%、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が23.4%となっている。(図2-1)

年齢別で見ると、65歳以降は「単身(ひとり暮らし)」が最も多くなっている。これに次いで、65～69歳・70～74歳・75～79歳・80～84歳は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が多く、85～89歳・90歳以上では「その他世帯」が多くなっている。(図2-1-1)

【図2-1-1 世帯の状況(年齢別)】

